

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 公立小中学校等情報機器整備事業費補助金
(公立小中学校等情報機器整備基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 義務教育課 小中総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8594)

E-mail : c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,082,410 千円 (前年度予算額： 3,184,060 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	3,184,060	0	0	0	0	0	3,184,060	0
要求額	2,082,410	0	0	0	0	0	2,082,410	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、国主導でGIGAスクール構想が推進され、1人1台端末と高速通信ネットワークが全国の公立学校に整備された。
- 1人1台端末の利活用が進む一方、児童生徒が使用する端末の故障やバッテリーの耐用年数が迫るなどしており、国はR6からR10の5年間をかけて機器を計画的に更新するとともに、故障時においても子どもたちの学びを止めない観点から予備機の整備も進める。

(2) 事業内容

- 整備されている1人1台の端末を、R6からR10の5年間かけて整備するための基金を造成し、効率的な端末整備を推進するために県を中心として共同調達を行う。
- 端末整備の共同調達に関する会議体の設置と運営を行い、市町村の端末調達の需要や希望するOSなどを調査し、共通した仕様書の作成等をする。
- 視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置(予備機を含む)の整備の支援をする。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・対象：児童生徒全員分の端末を対象（予備機15%以内）
- ・補助基準額：1台当たり5.5万円
- ・補助率：2/3（入出力装置については10/10）
(基金財源 国10/10)

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,082,410	端末、入出力支援装置の調達にかかる経費
合計	2,082,410	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策II 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
9 ICTを利活用できる力の育成

(2) 国・他県の状況

- ・全都道府県において、基金を造成し、共同調達等など、計画的・効率的な端末整備を進める。

(3) 後年度の財政負担

- ・整備見通し調査を踏まえ、更新のために必要な費用を、国から全額、補助金として積み増しがされる予定である。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・児童生徒全員に整備されている端末を、今後5年間かけて整備するための基金を造成し、効率的な端末整備を推進するために都道府県が中心となり共同調達を行うことが文部科学省から示されている。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 - ・R6からR10の5年間かけて義務教育段階の児童生徒全員の端末を更新する。
 - ・視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置（予備機を含む）の整備の支援をする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R5)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

児童生徒1人1台端末の整備ができており、市町村が各学校の実態に応じて更新時期を判断して進めるため。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 5 年 度	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %	
	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市端末整備 ・北方町端末整備 ・各務原市入出力支援装置整備 	
令 和 6 年 度	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %	
	令和9年度当初予算に追加	
令 和 7 年 度	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	文部科学省はR6からR10の5年間をかけて機器を計画的に更新するとともに、故障時においても子どもたちの学びを止めない観点から予備機の整備も進めていることを踏まえ、岐阜県も整備を進める必要がある。
2	
(評価)	

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

国の動向を常に確認しながら、端末の整備を進める必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
　　国の動向や、各市町村の整備計画を踏まえて、財源を確保しながら事業を進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	